

## 凡例

- 一 本書は、租税史料叢書第九巻の続巻として、昭和二年（一九二七）から同二十年（一九四五）までの税務執行関係史料を収録した。
- 一 収録史料には通し番号を付し、全体を時代順に二つの章に分類した。
- 一 収録史料は、すべて租税史料室所蔵史料で、出典は史料の末尾に史料番号を示した。
- 一 本書の末尾に、全体の史料の出典がわかるように掲載史料一覧を付した。
- 一 掲載史料は原文の体裁を維持しつつも、読み易くするため適宜に句読点を付した。また、煩雑を避けるため、明らかかな誤字・脱字等は訂正した。
- 一 原則として新字体に統一し、合字はすべてカタカナまたはひらがな表記とした。
- 一 判読不能の文字については、□または「」で示した。
- 一 編集上の記載は、「省略」など、すべて「」で示した。
- 一 原文の訂正・抹消部分については、原則として訂正後のものを採用した。
- 一 史料の表紙には「」を付し、それ以外の「」には（後筆）などと傍註を付した。
- 一 敬意を表すための欠字は、その文字の前を一文字分空けた。